ISSN 0919-2336

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学学術情報センターだより　第 26 号

CONTENTS:

♪ 贅沢な出会い
♪ 登校するときは忘れずに！
♪ 小特集 おすすめします 新 OPAC
♪ 小特集 おすすめします「司書のおすすめ」
♪ 2006 年度統計
♪ 2006 年度利用の多かった資料
♪ 活動記録
♪ 編集後記

贅沢な出会い

益岡 隆志

この稿は最初「私」で書くつもりでいたが、いろいろ候補になりそうなテーマを考えているうちに、「僕」で書くことにした。「私」という身構えた文体ではなく、「僕」というくつろいだ文体で自由に書いてみたい。

さて、僕は計画性なしにふらつきまわるという若い頃からの習性が直らず、今でもふらっと出かけることがよくある。食通の人が興味を持つのは美味な食が楽しめるところということになるだろうが、僕の場合はその土地の「館」に立ち寄ることが多い。文学館や記念館があれば決まって入館し、パンフレットの類を山ほど持ち帰る（もっとも、整理ベタでたいていは散逸することになるのだが）。

文学館や記念館を訪れるという話はまあ珍しくはないだろうが、僕の場合は、それらに図書館という「館」が加わる（これはずっと以前からの習癖だ）。図書館と言っても、別に大規模なものというわけではない。むしろ、こぢんまりとした図書館のほうが好ましいくらいだ。都会から離れた小さな町で、充実した図書館に巡り会うことも少なくない。この図書館にはどんな本が置いてあるのだろうと思って中に入っていくときのワクワク気分は、文章にはうまく表せない。本を見て回りながら何冊か取り出して読みはじめると、時間が過ぎるのを忘れてしまう。

このような本との出会いは実に贅沢なものだ。「贅沢」と言っても、お金がかかるということではない。無計画で、偶然に任せた出会いであり、時間的にも効率的とは全く言えないものだ（文学館や記念館に行くときも計画性がないために、閉館日に訪れたり、閉館後に辿りついたりすることも珍しくない）。このような、ゆったりと時間が流れるなかでの偶然の本との出会いが僕を楽しませるのだ。時には、既に読んだ本であっても、手にとってページをめくって楽しむこともある。こうした本との出会いや付き合いは本当に贅沢なものだ。他地域からやって来てこんな楽しみ方をする人間がいようとは図書館の人もあまり想像しないだろうが、僕のほうはそうした楽しみを享受させてくれる図書館やそこで働いている方々にいつも心から感謝している（極度に人みしりの性格から、話しかけたりする勇気はないのだが）。

本との贅沢な出会いには現実的な恩恵もある。本に目を通しているとき、「お宝」に出会うことがある。その「お宝」というのは、コトバの表現の具体例のことだ。日本語の文法について考えている僕にとって、分析に使える表現例はまさに宝物と言ってよい。こんな例があったらと思って探していたものが見つかることもあるし、新たな問題を考えるヒントになりそうな例に出くわすこともある。これもまた偶然の出会いである。時間をかけて探していれば見つかるというものではなく、本との偶然の出会いと同じく、向こうからやってくる表現例にたまたま遭遇するという贅沢な出会い。

贅沢なということは、心にゆとりがあるということでもある。何かよいアイディアが浮かぶのも、たいていは気持ちにゆとりがあるときのことだ。実際、偶然入った図書館でたまたま手に取った本を読んでいるとき、アイディアが浮かぶこともある。出て来いと命じて出てくるものではない。ゆったりと構えていればこそのアイディアとの出会いだ。こんなふうに書くと、いささかこじつけめいてくるが、要は、本との贅沢な出会いには現実的な恩恵もあるんですよと言いたかったまでのこと。趣味と実益を兼ねた図書館巡りは当分やめられそうにない。

効率的な情報収集にばかりスポットライトが当たりがちな昨今、このようなスローライフにも多少の意味はあるかもしれない。

（ますおか たかし 本学教授
学術情報センター長）

登校する時は忘れずに！ 学内コンピュータのパスワード考

「すみません、パスワードを忘れてしまったんですけど・・・」と困惑した顔で視聴覚ライブラリーに駆け込んで来る学生の方々が引きも切りません。

本学では、全学生に学内LAN(インターネットやe-mailが利用できる学内ネットワーク)のアカウント(利用者IDとパスワード)を入学時に配付しています。入学時のオリエンテーションでは、学内 LAN のパスワードは個人を認証する大切なものなので、他人に貸したりすることがないように、また、他人に知られないように銀行のキャッシュカードの暗証番号と同様に厳重に管理するように説明していますが、残念ながら浸透していないようです。最近は、授業の課題を電子メールで提出する場合も多く、『情報科学概論』の受講生以外でも学内LAN のアカウントは重要です。

昨年は第3AV 教室、今年は第5AV 教室がCALL(Computer Assisted Language Learning)教室に更新され、学生席にWindows の PC が設置されました。不特定多数が利用する PC は、個人認証を行ってから起動させるというポリシーを堅持できるよう、今年度よりWindowsPC でも個人を認証できるシステムが導入されました。それに伴いパスワードポリシーが以下のとおり変更されました。

パスワードポリシー

1. パスワードの長さは 6 文字以上 8 文字以下
2. パスワードの変更後、1 日たたないと再度変更できない
3. パスワードの有効期限は切れない
4. パスワードの変更時に前回のパスワードは利用できない
5. パスワードは、次の複雑さの要件を満たす必要がある
   a.ユーザーのアカウント名またはフルネームのかなりの部分を使用しない
   b.次の 4 つのカテゴリのうち 3 つから文字を使う
   ・英大文字および小文字 (A～Z/a～z)
   ・10 進数の数字 (0～9)
   ・記号 (! $ # % など)

パスワードポリシーの変更に伴い、この 4 月に全学生のパスワードを更新し、Web 履修登録期間に配付しましたが、まだ、受取っていない方が多くいます。まだの方は、学生証を持参の上、視聴覚ライブラリーまで新パスワードを受取に来てください。

パスワードは複雑なため、アカウント通知書を見なければなかなか入力できません(「パスワードの読み」もご確認ください)。早く自分で覚えることのできるパスワードに変更しましょう。ここで注意が必要なのは、パスワードの変更ができるのは、WindowsPC のみとなったことです。CAI 教室を毎週水曜日の 13:30～17:00 まで開放していますので、ご利用ください。また、第3AV や第5AV 教室での授業を受講されている方は、その際にパスワード変更が可能です。変更の手順は、http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/ja/AV/password_change.htm を参照してください。

パスワード管理は、ネット社会を生きていく上で必須です。はじめの一歩をつまずかないように、自己管理できるスキルを身に付けてください。

(冨尾)

小特集　おすすめします

活用ください!

新しくなった閲覧室内 PC と OPAC(蔵書検索システム)

閲覧室で図書やデータベースを検索するためのパソコンと、検索結果を印刷するためのレーザープリンタを2007年1月に更新しました。この半年の間に既にご利用のことと思います。更新前の端末と比べてきれいに、性能もよくなりました。

１．OPAC(蔵書検索システム)をリニューアル

新しくなったのは端末だけではありません。同じく 2007 年１月にリリースした新 OPAC では、インターネットを介してご自宅のパソコンからも図書を予約できるようになりました。予約するには図書館カード番号(学生証の場合、バーコード上の１０桁の数字)と OPAC 予約用のパスワードが必要です。パスワードの発行は図書館カウンターに申請してください。その場で発行して即利用可能です。ただし、お渡しするのは仮パスワードです。ご自身にしかわからない、覚えやすいパスワードに変更していただく必要があります。パスワードの変更は「マイページメニュー」からできます。

２.「マイページメニュー」新設

OPAC に新設の「マイページメニュー」では、今借りている本のリストの確認(貸出状況照会)、予約している本のリストの確認(予約状況照会)、予約図書の到着をお知らせするためのメールアドレスの登録と変更、パスワードの変更ができます。貸出状況照会を利用して、借りている本のタイトルと返却期限をまめにチェックすれば、延滞予防に役立つかもしれません。借りている本に予約がかかった場合には「予約あり」と表示されます。次にその本を読みたい方がお待ちですので、返却期限を厳守するようにしてください。

ここで一つ、注意していただきたいことがあります。外大の図書館カード番号とパスワードで予約できるのは、外大所蔵の貸出中の資料のみです。神戸市立図書館の資料を予約したい場合には、神戸市立図書館のカードとパスワードが必要になります。(神戸市立図書館のカウンターまでご相談ください。)

３．ロシア語、中国語でも検索可能

閲覧室の OPAC 端末に、スクリーンキーボードが表示されていることにお気づきでしょうか。新 OPAC では、多言語での入力と検索に対応し、入力支援としてスクリーンキーボードを表示させるように設定しています。対応しているのはロシア語、中国語、イスパニア語、ドイツ語、フランス語、ハングル、ベトナム語、英語、日本語です。画面右下の言語ツールバーで通常「JP」と表示されている部分をクリックすると、上記の言語がリスト表示されますので、入力したい言語を選択してご利

用ください。(ただし、ハングルはキー配列が対応するのみで、スクリーンキーボードには表示されません。ご了承ください。)

４．レシートプリンタの導入

閲覧室内のOPAC端末横に、レシートプリンタを導入しました。OPACに新設された「カート」と連動して、出納票のプリントアウトが可能になっています。資料探しの際にメモをとるよりも正確に、手早く資料の情報を得ることができますので、ぜひご活用ください。

(永井)

レシートプリンタでこんなミスが防げます

レシートプリンタ(写真右)

レシートプリンタはOPACの検索結果のなかから、資料を入手するのに必要な項目のみ印刷します(雑誌の巻号を除く)。これにより、手書きのメモでよく起きていた次のようなミスを防ぐことができます。

(1) 資料IDの転記

「資料ID」という名称から資料入手に必要な項目と思われるかもしれませんが、これは図書に貼付されたバーコードの番号で、資料を探す際は控える必要はありません。レシートプリンタは資料IDを印刷しませんので、間違えることはありません。

(2)請求記号の誤記

「請求記号」とは資料の位置を示す記号で、図書の背ラベルに表示されています。この項目を控えて資料を探すのですが、誤記があると、求めている資料が見つからなかったり、まったく違う資料が出てきたりします。レシートプリンタを利用すれば、書き間違いはありません。

(3) ロケーションの見落とし

資料が置かれている大まかな場所(閲覧室または書庫)を示す項目が「ロケーション」です。これが漏れると、カウンターに申し込むべき書庫の資料を閲覧室で探すことになったり、閲覧室で直接手に取れるはずの資料をカウンターに申し込んだりして、余計な時間を費やすことになります。出納票には、「ロケ」という項目に配置場所が明記されるので、見落とすことはありません。

なお、レシートプリンタを利用するには、OPAC予約用のパスワードでログインする必要があります。ログインにより出納票に氏名が印字され、書庫の資料の場合は、そのままカウンターに申し込むことができます。便利なレシートプリンタをどうぞご利用ください。

(飯島)

小特集　おすすめします

「司書のおすすめ」のすすめ

昨年（2006 年）12 月、図書館ウェブサイトのメニューに「司書のおすすめ」が加わったのをご存知でしょうか？

「司書」とは、図書館で専門的事務を行う職員のことです（外大には司書課程が設置されているのでご存知の方が多いとは思いますが、念のため）。当センターには現在９名の司書が在籍しており、全員がそれぞれの専門分野を持って業務を担当しています。具体的には、各人が各学科の語学、国際関係学、図書館情報学などに対応しています。それぞれの立場から、得意のジャンルを中心に「これは」という所蔵資料やウェブサイトを紹介するのが「司書のおすすめ」です。

「司書のおすすめ」は資料・サイト共毎週更新しています。掲載するものを選ぶ基準は各職員が持っているのですが、ここでは筆者が個人的に目標にしていることをお話しします。おすすめする資料は、図書館の中に数多ある「スタンダード」の中から、もっと利用されてもいいのでは？と日頃感じているものを主に選んできました。一度でも手にとれば、便利だと思ってもらえるものが多いと考えているためです。逆に、おすすめするサイトは、（複数のサイトで引用されるなど）それなりに評価されていることが確認できれば、できるだけ新しいもの、まだ多く知られていないものを紹介しようとしています。こちらは、むしろ「定番」はご存知の方が多いのではないかと推測しているためです。

もちろん、ある資料なりサイトを役に立つと評価するかどうかは、利用する方にゆだねられます。ただ、評価するためには、一度はご自分の目の前に置く必要があります。「おすすめ」がそのきっかけになれたら（そしてできればその資料/サイトを「使える」と思ってもらえれば）、と思いながら紹介記事を書いています。

「資料探しのコツ」は毎月更新しています。ここでは、図書館を利用するときに知っていると便利なことをお知らせしています。貸出中ではないものが棚にないときにどこを探せばよいか？見慣れない請求記号のついた資料はどこにあるのか？等々、ほかの広報物では紙幅の都合でなかなか細かくはお伝えできないことにスポットをあて、多めの字数で、また画像も多く用いて、丁寧に説明しています。

「司書のおすすめ」サイトは開設から半年が経ち、6 月の時点で「資料」「サイト」それぞれが 30 回近くに達しました。このまま継続すれば情報の蓄積によって有益なサイトに成長してゆくはずです。

どうぞ、週に一度は図書館ウェブサイトへ。司書が、あなたに語りかけています。

※毎月初め、前月掲載分をまとめて「司書のおすすめ」プリント版を発行しています。カウンター前に置いていますので、こちらもどうぞご利用ください。

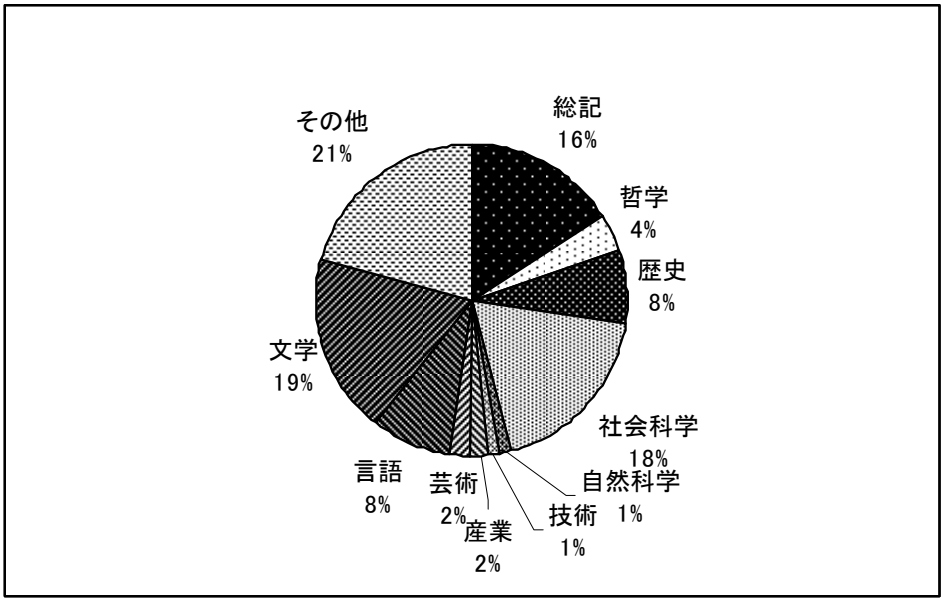
（橋本）

2006 年度統計

図書館	蔵書総数			378,637 冊
	入館者総数			156,387 人
	貸出総数			41,552 点
	相互協力	図書貸借①	借受冊数	292 冊
			貸出冊数	105 冊
		図書貸借②	借受冊数	442 冊
			貸出冊数	1,131 冊
		文献複写	依頼件数	366 件
			受付件数	97 件
視聴覚ライブラリー	所蔵総数			5,589 種
	利用者総数			6,990 人

①･･･大学図書館との貸借　②･･･神戸市立図書館との貸借

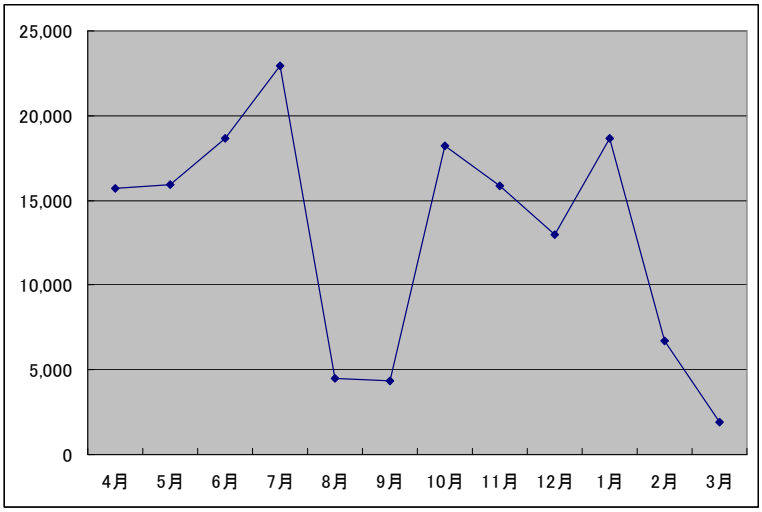
図書館　主題別蔵書冊数



（単位:冊）

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	総計
和書	38,713	11,433	17,436	47,487	4,387	3,127	4,965	4,208	13,755	29,293	29,361	204,165
洋書	21,443	3,180	11,506	21,957	1,146	1,042	2,441	2,796	18,307	40,959	49,695	174,472
計	60,156	14,613	28,942	69,444	5,533	4,169	7,406	7,004	32,062	70,252	79,056	378,637

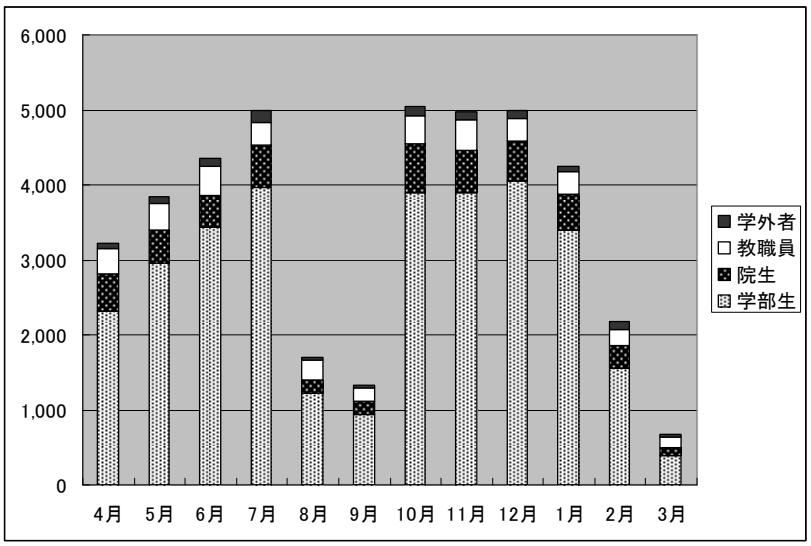
図書館　月別入館者数



（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
15,728	15,896	18,689	22,947	4,463	4,349	18,225	15,849	13,001	18,671	6,677	1,892	156,387

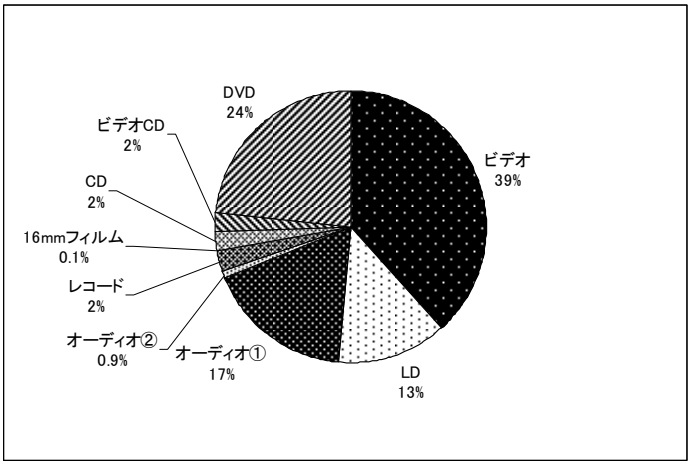
図書館　月別貸出冊数



（単位：冊）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
学部生	2,324	2,958	3,426	3,963	1,223	933	3,898	3,892	4,053	3,400	1,556	396	32,022
院生	490	445	430	572	172	188	650	569	525	475	300	105	4,921
教職員	335	342	386	298	261	177	367	404	303	308	211	144	3,536
学外者	80	103	119	159	40	33	125	102	112	68	113	19	1073
計	3,229	3,848	4,361	4,992	1,696	1,331	5,040	4,967	4,993	4,251	2,180	664	41,552

視聴覚ライブラリー　資料種別所蔵点数

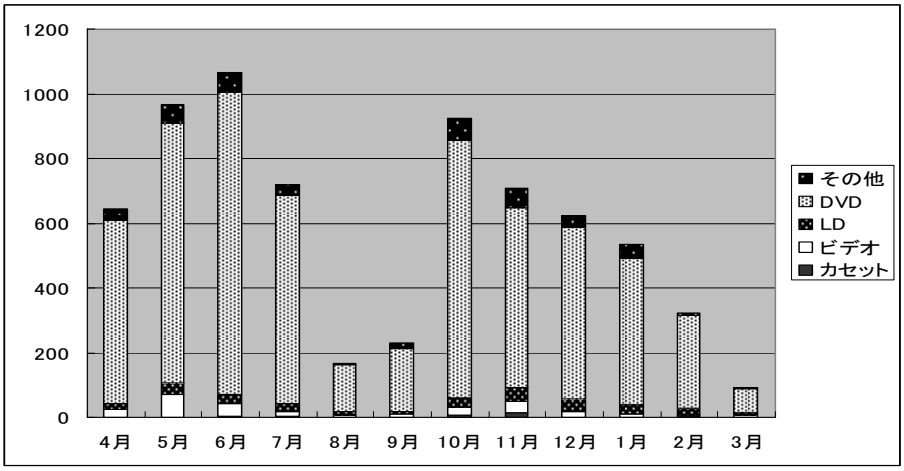


（単位：種）

ビデオ	LD	オーディオ①	オーディオ②	レコード	16mm フィルム	CD	ビデオ CD	DVD	総計
2,144	735	966	55	129	10	129	119	1,302	5589

①･･･カセット　②･･･オープンリール

視聴覚ライブラリー　月別利用者数



（単位：人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
カセット	1	1	2	3	1	1	6	13	1	0	2	1	32
ビデオ	25	71	41	15	6	9	27	38	17	12	4	5	270
LD	18	35	29	23	12	9	28	40	40	26	22	9	291
DVD	565	804	934	647	144	195	795	556	528	453	286	72	5,979
その他	34	54	58	31	4	15	67	60	36	45	9	5	418
計	643	965	1,064	719	167	229	923	707	622	536	323	92	6,990

2006 年度利用の多かった資料

図書館　図書貸出回数

順位	タイトル等
1	英文法解説 改訂三版 / 江川泰一郎著 金子書房, 1991
2	海辺のカフカ 上（新潮文庫）/ 村上春樹著　新潮社, 2005
3	眺めのいい部屋（ちくま文庫)/ E.M.フォースター著 筑摩書房, 2001
4	世界の日本人ジョーク集(中公新書ラクレ) / 早坂隆著 中央公論新社, 2006
	夜のピクニック / 恩田陸著 新潮社, 2004
	碾臼 / マーガレット・ドラブル著 河出書房新社, 1979
	ダ・ヴィンチ・コード 上 / ダン・ブラウン著 角川書店, 2004
	東京タワー(新潮文庫) / 江國香織著 新潮社, 2006
5	速断速答の TOEIC テストリスニング / 吉原学著 コスモピア, 2005
	英語ヒアリング集中レッスン 実践編 / 深沢俊昭ほか著 アルク, 1999
	「英語で書く」基本が身につく本 / 大木崇著 研究社,2002
	風味絶佳 / 山田詠美著 文藝春秋, 2005
	ホリー・ガーデン（新潮文庫）/ 江国香織著 新潮社, 1998
	海辺のカフカ 下（新潮文庫）/ 村上春樹著　新潮社, 2005

視聴覚ライブラリー　ビデオ・ＤＶＤ利用回数

順位	タイトル
1	Mr. & Mrs. スミス
2	イン・ハー・シューズ
3	チャーリーとチョコレート工場
4	ハリー・ポッターと炎のゴブレット
5	THE 有頂天ホテル
6	ＳＡＹＵＲＩ
7	フライトプラン
8	私の頭の中の消しゴム
9	ブラザーズ・グリム
10	プライドと偏見

活動記録　　2006年10月～2007年3月

10月4日 情報処理施設等運用委員会
13日 兵庫県大学図書館協議会講演会（武庫川女子大） 1名派遣
24日 高校見学受け入れ
26日 高校見学受け入れ
26-27日 全国図書館大会(岡山) 1名派遣

11月1日-2007年2月28日　遠隔研修「資料保存」(国立国会図書館主催) 1名受講
2日 神戸大学学術情報基盤センターシンポジウム　1名派遣
14日 トライやる・ウイーク受け入れ(学術情報係)
15日 トライやる・ウイーク受け入れ(情報メディア係)
16日 兵庫県大学図書館協議会研究会(兵庫県立大神戸キャンパス) 1名派遣
22日 高校見学受け入れ
30日 図書館報第25号発行

12月1日 「司書のおすすめ」ページ開設
6日 情報共通基盤デモンストレーション
8日 トレンドセミナー(インテックス大阪) 1名派遣
12日-27日　長期貸出実施
28日 図書館業務用PC、閲覧室PC入れ替え
28日-2007年1月4日 OPAC一時停止

1月4日　新図書館業務クライアントおよびOPAC稼動, WebOPAC予約開始
5日 「司書のおすすめ」プリント版発行開始
9日-2月2日 開館時間延長
29日-3月24日 長期貸出実施

2月1日 スペイン王立学士院編纂『模範辞典』初版(1726-1739)展示
16日 公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会総会(和歌山) 2名派遣

3月8日 OA研修 1名派遣
20日 第5AV教室更新
27日 閲覧室カーペット一部張替え
27日-28日　著作権セミナー(大阪市立中央図書館・大阪府立中央図書館) 1名派遣
29日 書庫タイル一部張替え
31日 図書館長退任　近藤義晴教授

編集後記

外国語大学は今年４月１日に法人へ移行しました。それを機に図書館は名称を学術情報センターと改め、初めてのセンター長をお迎えしました。

「学術情報センターだより」となった本号で、巻頭言をその益岡新センター長に執筆していただいています。

従来から情報メディア係では、学内 LAN など昔からの図書館の枠組みを越えたサービスに取り組んできましたが、今回の改称は、センター全体として、今後の新たな業務展開への意欲を表現したものといえます。

今年１月の図書館システムの更新による利用者端末のリニューアルによって、その性能はずいぶん良くなっているはずですし、レシートプリンターの導入や WEBOPAC 予約、「マイページメニュー」、スクリーンキーボードといった機能追加は、皆さんの図書館利用の利便性の向上につながっていると思います。

また、大学の教育や研究のちょっとしたヒントになればと昨年１２月からはじめた資料とサイトの紹介サイトである「司書のおすすめ」は、館員が多忙な日常業務の中で、自分たちの専門を活かそうと積極的に取り組んでいるものです。

大学は中期計画で今後６年間に多くの新しい改革を実現していくことになりますが、当センターもそのなかで、これからの時代に本当に必要なサービスとは何なのかを常に考えながら、利用者と共に進んでいきたいと考えています。

編集責任者：学術情報センターグループ長
牛原秀治

AD ALTIORA SEMPER　No.26　神戸市外国語大学学術情報センターだより

「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です

編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター

〒651-2187　神戸市西区学園東町 9 丁目 1

TEL：078-794-8151 / FAX：078-797-2257

E-MAIL：info@lib.kobe-cufs.ac.jp

URL：http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/

2007 年 6 月 29 日発行　　発行責任者：　センター長 益岡隆志